



学校便り
No. 12

※番号は昨年度から継続

夢・挑戦

令和2年4月22日

水俣市立水俣第二中学校

校長 高橋 裕二

学校再開へ向け、今は我慢する時です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月から学校がほぼ休みの状態が続いています。こんな時だからこそ、学校は何のためにあるか、誰のためにあるか、改めて学校の存在意義を考えた人もいると思います。「学校に行きたくない」「学校はいらない」と、一度は誰もが思ったことでしょう。しかし、いざ学校がずっと休みになると、学校の役割や大切さに気づくものです。生徒の皆さんは、一日のほとんどを、家で家族の人と一緒に過ごしていると思います。いつもなら、学校で授業を受け、放課後は部活動をし、そして、土日は買い物や友達と遊んでいたはずです。



【先生方によるサラ玉の収穫】

ところで、学校は、人口知能AIに取って代わることはないと言われています。なぜなら、「人づくり」はコンピュータにはできないからです。先生方には、「授業を通じて人づくり」をお願いしています。生徒は、授業で教科の勉強を学ぶだけでなく、先生と直接話をしたり、一緒に過ごしたりしながら、先生の人柄や人間性、人権感覚、価値観などに触れて、人間的成長をすると考えるからです。

また、学校では、授業や学校行事、部活動など集団で活動を行います。すると、仲良くなるだけではなく、トラブルや仲間はずし、いじめなどが時々発生します。しかし、その中で人間関係を学び、他人への優しさや思いやり、差別やいじめは絶対にいけないことなどを学びます。家庭やSNS上では残念ながら友達との人間関係を学ぶことはできません。

私は昨年4月、5年ぶりに行政の仕事から学校現場に戻りました。生徒の姿があり、生徒の声が聞こえる職場の有り難さを強く感じました。当たり前の日常が早く戻すために、今は自分の行動を自制して我慢する時です。

最低4時間以上の家庭学習を目標に!!

昨年度の熊本県学力・学習状況調査では、平日（月～金）1日あたり家庭学習が1時間以下の生徒の割合は、1年（現2年）で60%、2年（現3年）で77%であり、大きな課題でした。また、授業の予習・復習に取り組む生徒も、1・2年ともに県平均を下回りました。学校では、平日1日2時間以上の家庭学習を目標に生徒に呼びかけています。

さて、現在、5月6日まで臨時休校中で、本日、残り2週間分の課題一覧と家庭学習記録を配付しました。その中で、1日最低4時間以上の家庭学習を目標にしました。また、学校から出された課題だけでなく、昨年度までの学習内容や今後の予習などを、自主学習ノートを準備して自分なりにまとめることも行ってください。学校から出された課題や宿題だけでなく、自分の苦手な教科やさらに詳しく勉強したい教科などを、自主的に勉強することはとても大切なことです。

「させられる勉強」から「自分でする勉強」ができるようになると、学力が飛躍的に伸びるとともに、学ぶ楽しさを実感し、次の学ぶ意欲につながります。学ぶことは楽しいことです。

4月16日、先生方でサラ玉の収穫を行いました。本来なら2年生が授業で収穫する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、先生方で行うことになりました。今年4月、異動で二中に来られた先生やALTの先生は、初めての体験でとても喜んでおられました。収穫したサラ玉の一部は、福島県の中学校に送る予定です。登校日に2年生へ渡す分を確保して、残ったサラ玉は先生方が購入しました。

私は購入したサラ玉とタケノコと一緒に、初任校（久玉中）と2校目（松橋中）の当時の校長先生に送りました。お二人の校長先生は、私が教頭や教育委員会、教育事務所と役職・職場が変わるたびに、毎回、偶然同じ日に葉書が届き、励ましていただきました。お二人とも85、86歳になられ、電話の声や話し方が当時のままで嬉しくなりました。「先生になった時の喜びを忘れない」「初任校から2校目までが大事」とよく言われますが、私も20代の頃に出会った先生方の助言や保護者の協力で何とか頑張ることができました。